

フロア作成マニュアル

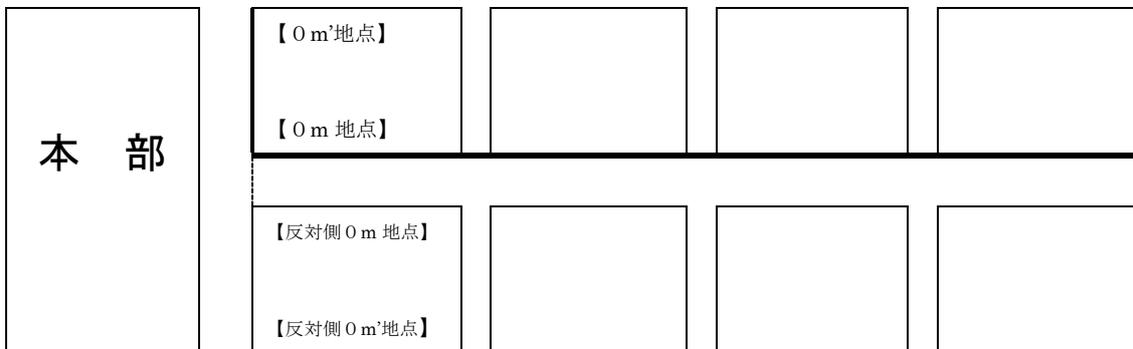
○係の生徒をフロア中央に集合させ、次のA~Cに役割を分担する（約1:2:2）

A 試合場ポイント→試合場テープ
B 試合場イス・机・シート・ホワイトボード・審判主任席
C 本部イス・机・シート・中心線と開始線作成

- ・各分担の仕事が終わったら、遅れている作業を手伝うように指示する
- ・作業が流れてきたら選手は作業終了し、試合準備をするように指示する
- ・作業終了後、本部に報告し終了

A 試合場ポイント→試合場テープ

- ・会場の縦の長さを測り、試合場を10mか11m四方、試合場間の間隔は○cm(m)と決める
- ・本部との間隔が安全だと判断できる地点に基準となる【0m地点】のポイントをつつ
（第一会場と第五会場との間隔は約1.5mで、作成上都合の良いところ、または目安となる他種目のラインを使用する）
- ・【0m地点】から観客席側（横）に11(10)m離れた地点にポイントをつつ【0m'地点】
- ・メジャーを【0m地点】から縦に伸ばし、決められた試合場および間隔の地点に生徒を立て、指示をしながらポイントをつつ、ズレがないように板目を利用し正確に行う
- ・以後同様の作業を【0m'地点】→【反対側0m地点】→【反対側0m'地点】でも行うことで全ての試合場四隅の場所が決定する
- ・メジャーを持った5人組×2で、中心線と開始線（1.4m×1.4m）位置にポイントをつつ
- ・他の生徒は試合場のテープ貼り、試合場内・付近の白線と金具のマスキング作業に移る
- ・テープを貼る際にポイントが、テープの中心になるように統一する
（テープ幅のズレがないようにするため 図1参照）
- ・教員が全ての試合場のラインの不足、ズレ等ないか確認する



<図1. テープとポイントの位置>

ポイント



B 試合場イス・机・シート・ホワイトボード・審判主任席

- ・シートを試合場から※約 1.5m 離れた、作業上都合の良い地点に敷く
(会場によってはシートを敷かない場合もある ex. 秦野総合体育館)
※「剣道試合審判細則規則第一条」に原則境界線から 1.5m 以上距離をとるように記載有
- ・各試合場の机：イスの数を伝える (ex. 13 : 1, 11 : 1)
- ・机の中心がその試合場の中心線の延長線上になるように置き、イスを均等に配置する
- ・机の後ろにホワイトボードまたは掲示板を置き、必要に応じて新聞紙を貼る
- ・審判主任席は専用のシートを敷き、外側奥から本部を向くように配置する
- ・審判主任席用のイスを用意する

C 本部イス・机・シート・中心線と開始線作成

- ・シートを第一試合場から約 1.5m、場内奥方向に離れた作業上都合の良い地点に敷く
(会場の大きさによって本部席の列数を決める)
- ・机を横一列に並べ、適当な数のイスを配置する
- ・上記の作業を行っている生徒以外は中心線と開始線を作成し、A グループに渡す

○閉会式終了後そのまま、朝担当した箇所の片付けに入る

- ・フロア中央にゴミ袋を用意
- ・観覧席の掃除、トイレの確認、モップがけを行う
- ・集合し、清掃確認、生徒解散
- ・**教員控室等の掃除を先生方にさせていただく**
- ・大会忘れ物の確認、忘れ物の一時持ち帰り
- ・班の先生方集合し、ゴミ持ち帰り分担や次回大会の連絡等をして解散